「第1回まちづくりタウンミーティング」開催結果

- ■日 時 平成29年3月15日(水)~3月24日(金)
- ■会 場 各地区公民館
- ■参加者 合計 102 名
- ■テーマ 市民と行政の協働で元気なまちへ
 - ~ (仮称) 自治基本条例の制定に向けて~
- ■内容・橋本市を取り巻く現状や今後の予測、市の取り組み等について
 - 質疑応答

■いただいた主な意見

◎恋野地区公民館(3/15 18:30~)参加者:19名

- ・市の広報で情報発信しているというが、広報を見ない。見ている人がいない。
- ・予算がなくてもサービスはできるので、そういうものを大事にしていく必要がある。
- ・委員を募集する際に高校や大学生を入れることはできないか。若い意見を入れては どうか。
- ・行政に話をしても「金がない」と返される。「金がない」ばかり言わないでほしい。 活きるお金の使い方をしてほしい。

◎橋本地区公民館(3/16 18:30~)参加者:6名

- ・市の考え方が聞けてよかったと思う。こういった聞く機会が重要になる。
- ・問題は出てくるが、話し合うことで解決へ向かっていく。
- ・市の中で「墓」の問題はテーマになっているか。管理をしているが、ゴミ処理の部 分だけでも支援してもらわないと今後は難しい。

◎高野口地区公民館(3/18 13:00~)参加者:10名

- ・地域でやると言っても担い手が疲弊してしまって何かするのは難しい。次の世代が 育たないといけない。
- ・世論調査にしても、全ての意見を聞くことは難しい。意見を聞くにしても従うだけでなく、できないものはできないと言ってほしい。
- ・こういった場に若い人に来てもらう方法が必要でないか。
- ・若い人が地元に興味や関心がないから出て行ってしまう。地元に愛着を持ってもらえることが重要。

◎学文路地区公民館(3/18 15:30~)参加者:12 名

- ・ニーズを叶えすぎたり風呂敷を広げすぎたりするのもいけない。的を絞っていかないといけない。
- ・「こういう風になります」という具体的なことをわかりやすくしてくれないと理解できない。
- ・市に期待しているが、結果が出ないのがもどかしい。
- 協働でやるにもお金はいる。

◎隅田地区公民館(3/21 18:30~)参加者:11名

- 条例を作ってまちづくりがどう動くかイメージがわかない。
- ・みんなでやろうはいいが、議員や行政にもそれ以上に目に映ることをやってほしい。
- ・地域で活動して、それで満足感が得られれば、ちょっとずつ変わっていく。満足感 を得てもらえる関係を、一部ではなく地域の雰囲気として作っていくことが必要。 精神的に充実感を得られるような仕組みが必要。
- ・橋本市は公民館活動が活発なので、今ある自主的な力をどう結集していくかが重要。
- 「この地区はこういった取り組みをする」といったアイデアに賞金を出すのはどうか。
- ・条例がなぜいるのか、必然性が見えてこない。なぜあわてて作る必要があるのか。

◎山田地区公民館(3/22 18:30~)参加者:12名

- ・具体的に何をしていくかが重要になってくる。国でもしていない、突拍子もないことに取り組むことが必要では。
- ・各団体や市民の協力を得る必要があるのは確かだが、ボランティア搾取になるので はないか。
- ・山田地区は小中学生がほとんどいない。10年たてば高齢者だけになる。農地は荒れて限界集落に近くなっていく。こういった中で、もっとカンフル剤的な取り組みをする必要があるのではないか。

◎紀見地区公民館(3/23 18:30~)参加者:15名

- ・意見を聞いて実行したとして、責任は誰が取るのか。市民のせいにされるのでは。
- ・条例を作って活性化していこうということだが、これは市や議会で考えることでは ないのか。
- ・地域特性を踏まえてまちづくりをしていくことが必要。
- ・協働のまちづくりは双方同等でお互いの信頼関係がないと拒否反応が出てしまう。
- ・組織での活動が大きくなってきている団体もある。これらを結びつける仕組みをイメージしてまちづくりをしてほしい。
- ・防災・共育コミュニティ・地域包括ケア、それぞれがバラバラでやっている。
- 何らかの方法で若い人の意見を取り上げるべきでは。

◎紀見北地区公民館(3/24 18:30~)参加者:17 名

- ・自治基本条例はいつから作っていくのか。公益活動やその支援は具体的にどういっ たことを考えているのか。
- ・今も活動している市民もいるし、補助をもらってやっているところもある。 うまく 配分してもらえるような仕組みが必要では。
- ・地域担当制度や自治基本条例も良い取り組みだと思うが、市が一歩踏み出しても市 民がついてこれないのではないか。
- ・区単位でなく、もう少し大きい単位で考えると違ってくるのではないか。
- ・委員の選定については、本当に考えてくれる人を選び出してほしい。